



父母連は、世田谷区内の学童クラブの父母会を主体とした情報交換と相互交流のための自主的な団体です。子どもたちの放課後の生活を充実させ、学童クラブをよりよいものにしていくために活動しています。

世田谷父母連第38回定期総会が開催されました

5月19日（日）午後、三軒茶屋の「三茶しゃれなあどホール」で第38回父母連定期総会が開催され、現役保護者61名、OB・OG役員約10名が参加しました。

総会の冒頭、3つの団体から来賓挨拶をいただきました。

東京都学童保育連絡協議会（都連協）からは、「江戸川区で『おやつ』と『麦茶』が廃止されました。また、荒川区でもおやつの廃止案が出ています。学童保育の後退を防ぐには父母会の役割が重要です。世田谷区では是非『父母連』の運動を大切にしてください」（要旨）とのお話がありました。

世田谷保育親の会（伊澤様）からは、「父母連の入室説明会のように、私たちも毎年『ようこそ保育園へ・フォーラム』をおこなっていますが、いつもスタッフ不足に苦労しています。今後とも学童クラブの父母連と力を合わせて運動を進めていきたい」（要旨）とのご挨拶をいただきました。

世田谷区職員労働組合児童館分会（白木様）からは、「新BOP導入時に2000人だった学童クラブ登録

児童も今は4000人を超えており、現場は多くの問題を抱えています。職員の声が届かないほどの大規模クラブも増え、待遇が悪くて指導員が短期間でやめてしまう状況もあります。今後とも父母と指導員が手を取り合って、学童クラブをよりよいものにしていきましょう」（要旨）とのご挨拶をいただきました。

川名さん（明正小学校・父）と鶴見さん（千歳台小学校・母）を議長に選出したあと、「申し合わせ」（花田副会長）、「はじめに」（千葉会長）、「活動日誌・活動報告」（柳事務局長）、「運動会報告」（昨年度運動会実行委員長・ソルスティンソンさん）、「ブロック報告」（各ブロック代表者・責任者）の各報告が行われました。

その後質疑応答があり、Q「父母会合同運動会に参加している父母会はどのくらいか？」A「個人の参加もあり、約半数の父母会から参加者を得ている」、Q「父母連に参加していない父母会はあるのか？」A「会費を納入している父母会が参加父母会であるが、父母連の重要行事である『入室説明会』には世田谷64



校中47校の父母会から参加を得ている」、などの議論が行われ、承認されました。

3時から10分の休憩のあと、自主運営クラブ（わんぱくクラブ、私立和光小学校学童クラブ）の紹介があり、その後、「活動方針提案」（千葉会長）、「会計報告」（父母連会計・若林さん）、「会計監査報告」（監査 松丘小・高木さんほか）、「予算案提案」（柳事務局長）、「旧役員解任・新役員提案」（高取副会長）がそれぞれ拍手で確認されました。

最後に「議長解任挨拶」（川名さん・鶴見さん）を受け、3時40分に総会を終了しました。総会后、各ブロックに分かれ、今年度の打ち合わせ等を行い、すべてのプログラムを終了しました。なお、全国学童保育連絡協議会（全国連協）がとりまとめている「東日本大震災学童保育義援金」には会場から5,010円が寄せられました。ご協力に感謝いたします。

第42回 東京の学童保育研究集会に参加しましょう！



「東京の学童保育研究集会」（略称：都研修会）は、7月7日（日）に、荒川区首都大学東京荒川キャンパスで開催されます。今年で42回目を数え、毎年この時期に23区の持ち回りで開催されています。

午前中は、全体会が開催され、記念講演は、大東文化大学教授 村山士郎さんによる「子どもたちに安

心と信頼の生活世界を」です。午後は、11の分科会に分かれて交流します。ご都合により、午前・午後からの参加も可能です。

貴重な休日ではありますが、学童クラブ初めての父母もベテランの父母も、「明日への力や希望」が湧いてくる交流になると思います。お誘い合せの上、是非、

ご参加ください。

参加申し込みは、お弁当・保育（3歳以上）ご希望の方は、6月23日（日）までに、父母連事務局宛、メール・FAXでお申し込みください。参加費は、父母連で補助します。当日まで参加受付できますが、できれば事前にお申し込みください。（裏面に続く）

【参加申込書】

第42回 東京の学童保育研究集会

所 属	区 市	氏 名	性 別	男・女	保 育 希 望 (3才以上)	氏名（ふりがな）	男・女（ ）才
	学童保育名					氏名（ふりがな）	男・女（ ）才
住 所	〒 ☎/FAX e-mail					特記事項（アレルギーなど）	
あなたの立場	父母・指導員・その他（ ）					参加費：2,000円 弁当代：600円×（ ）個 保育実費：400円×（ ）名	
参加形態	全日・午前のみ・午後のみ					合計 _____ 円を添えて申し込みます	



会場までのアクセス
日暮里・舎人ライナー、都電荒川線「熊野前」駅より徒歩3分
田端駅から都営バス端44系統「北千住駅行」に乗車、「首都大荒川キャンパス前」下車徒歩0分

第42回 東京の学童保育研究集会…全体会	
開会挨拶	第42回 東京の学童保育研究集会 実行委員長 神長 啓子
基調報告	東京都学童保育連絡協議会 会長 土田 英夫
記念講演	「子どもたちに安心と信頼の生活世界を」 村山士郎さん（大東文化大学教授）

【タイムテーブル】

9:009:3012:0013:0016:00

受付	全体会	昼食 各区交流	分科会
----	-----	------------	-----

★午後の保育の受付は、12 時 50 分からです。

第42回 東京の学童保育研究集会…分科会		
分科会名		内容
1. 入門講座	講座 ようこそ学童保育へ	小学生になって通い始める『学童保育』ってどんなところでしょう？「ただいま～」と帰ってくる子どもたち、「おかえり～」と迎える指導員。子どもたちが豊かな放課後生活をおくるために、学童保育で大切にしたいことを父母と指導員で確かめ合いましょう。
	2. 学童保育の生活 交流A 学童保育の子どもたち	学童保育に通い始めた子どもたちは、指導員と父母（会）、そして仲間を支えられた生活の中で、信頼が生まれ、いきいきとあそび、仲間としてのきずなを深めて成長していきます。今の子どもたちの姿には、「落ち着かない」「仲間に入れない」など、育ちの課題も見られます。子どもたち一人ひとりの成長を支えてきた経験や、逆にうまくいかずに失敗して苦労してきた経験を語り合いながら、学童保育にとって大切な『生活づくり』について指導員と父母で確かめ合いましょう。
	交流B 子どもたちの生活を父母と指導員で伝えあう	学童保育の豊かな生活は子どもたちと父母と指導員とでつくりだしていくものです。そのためにも父母と指導員が子どもたちの生活のようすを伝えあうことは欠かすことはできないことです。保育園と違って送り迎えがない分、子どもに関する情報交換や意思疎通が父母と指導員の間で希薄になっていませんか。「伝えあうことの大切さや方法」「難しさ」等を交流しましょう。
	交流C 配慮の必要な子とともに	学童保育には障がいのある子どもなど配慮の必要な子どもたちも生活しています。子ども自身が抱える困難に寄り添う保育の実践や、子ども同士の関わり合い、そこで培われる力、学童保育での子どもたちの成長を確かめたいと思います。初めて経験する指導員・親の不安や思い、多くの経験から発見など、それぞれの立場から普段感じていることを率直に出し合い交流しましょう。
3. 父母会活動	交流 父母会ってなぜ必要!? 魅力ある父母会とは	「父母会って何のためにあるの?」「働いているから預けているのに…」そんな声も聞こえてきます。まずは、父母会に集ってみませんか？わが子の友だちを知り、友だちのお父さんやお母さんと出会うことで、わが子の新たな一面も発見するかも知れません。色々な行事に参加すると「たいへん」が「楽しい」になったり、他では味わえない充実感を味わったり…。卒室後の子どもの生活の大きな支えにもなります。一歩踏み出してみませんか。つながるって楽しいですよ。
4. 東京の学童保育は今 	講座 学童保育をめぐる情勢	学童保育を取り巻く情勢は、この間大きく変化しています。2012 年8 月に子ども子育て関連法も制定され、この一つとして、児童福祉法も改訂されました。学童保育に対する国・東京都・23 区の施策の動向を学び、学童保育として大切にしたいことを考え合いましょう。
	交流A 全児童対策事業と学童保育	全児童対策事業が導入された五つの区（品川・渋谷・世田谷・江戸川・豊島）では、学童保育が全廃、あるいは一体的に運営されることで、学童保育の機能が大きく損なわれてきました。江東区、板橋区でも導入が始まり、複数の区で検討されています。当初、全児童対策事業で学童保育を廃止する傾向が強まっていましたが、「学童保育機能の維持」「常勤職員の増員・再配置」などの動きも出てきています。各区の状況を共有し、学童保育の充実に向けて何をしたらいいのか交流しましょう。
	交流B 東京の指導員と学童保育の情勢と課題	今、東京の学童保育は様々な形態で運営されています。その結果、指導員の雇用条件が厳しかったり、身近に仲間や先輩がいないことなどから、学び合い、経験を積みながら長く働き続けることが困難な状況も生まれています。なによりも学童保育を必要とするすべての子どもたちのため、東京の指導員の現状を踏まえて、父母と指導員が今、何をすべきかを学びましょう。
5. 日本の学童はいく誌で学ぶ	交流 連絡協議会の役割って？	日本の学童はいく誌の記事の中から、心に残っていることや、感動したことを出し合い、学童保育の必要性を確かめていきましょう。そして、子どもたちの生活を守り、学童保育を充実していくために、大きな役割を担っている連絡協議会について考えていきましょう。連絡協議会は、父母と指導員が手をつなぎ、子どもたちが安心・安全な放課後の「居場所」で健やかに成長することを願って、活動しています。日本の学童はいく誌の読み合わせをしながら、父母と指導員で、連絡協議会の役割を確かめましょう。
6. 地域の子育て	交流 子どもたちの放課後の生活を考える	大人が時間に追われ、慌ただしい毎日を過ごしているのと同じように、子どもたちも目まぐるしい毎日をすごしています。だからこそ、人と人とのつながりの中で、子どもたちが安心してホッとできる居場所や、保護者が子育ての悩みを相談できる場が必要とされています。保護者や子どもたちが地域の中で安心して過ごせるために必要なことを参加者と一緒に考えたいと思います。
7. 特別分科会	講座&交流 「荒川区 新放課後子どもプラン」を考える	荒川区では、平成25 年度から新放課後子どもプランとして、にこにこすくーるコースと学童クラブコースがはじまりました。「放課後の子どもたちにとって大切なことは何か。」「学童保育クラブ指導員としての役割は何か。」「父母同士のつながりや父母と指導員がつながる必要性とは何か。」を確かめ、荒川区の子どもたちの放課後の生活と一緒に考えましょう。

今後のスケジュール				
運営委員会・交流会				
第1回 6月15日(土)19時～ 太子堂区民センター				
2013年度の父母連役員人事承認がありますので、なるべく各父母会よりご出席お願いいたします。交流会では、「父母会・父母連の役割」と「学童クラブの基礎知識」を予定しています。学童クラブ初めての父母の皆さんにもわかりやすく学童クラブ・父母会活動をご紹介します。参加は、父母会役員に限らず個人で自由に参加できますので、是非皆さんで交流しましょう。				
1・2・3 ブロック会	第1回	6月30日(日)10時～	太子堂区民センター	5ブロック会 第2回 6月16日(日)13時～ 烏山区民センター
4ブロック会	第1回	6月8日(土)19時～	経堂地区会館別館	6ブロック会 第1回 6月15日(土)10時～ 千歳小学校
				7ブロック会 第2回 7月6日(土)10時～ 瀬田小学校
				8ブロック会 第1回 6月29日(土)18時～ 奥沢地区会館
				運動会実行委員会 第2回 7月6日(土)19時～ 太子堂区民センター
				第42回東京の学童保育研究集会 7月7日(日) 荒川区 首都大学東京・荒川キャンパス
				第48回全国学童保育研究集会 10月5日(土)・6日(日) 岡山 桃太郎アリーナ・岡山大学
				第11回世田谷父母連合同運動会 11月3日(日) 砧総合運動場陸上競技場



2013年6月5日発行
編集・発行：世田谷区学童保育クラブ父母会連絡会
URL: <http://www.geocities.co.jp/SweetHome-Skyblue/3450/>
E-mail: setagaya-fuboren@gakudo.club.ne.jp
お問い合わせは、父母連事務局まで
事務局長 柳 武仁 〒156-0054 世田谷区桜丘1-18-8
TEL/FAX 03-3420-8083（夜間）携帯 090-8318-8083（緊急・昼間）

父母連会費と「日本の学童はいく誌」について

- 父母連会費は、1年間 400円×世帯数（4月1日現在）です。
- 「日本の学童はいく誌」誌代は、3,960円（1冊年間購読）です。

■郵便振替口座 00110-6-650871

■加入者名 世田谷区学童保育クラブ父母会連絡会

※「通信欄」に「父母会名」「明細」をご記入ください。

《銀行から振込の場合》

■銀行名：ゆうちょ銀行 ■金融機関コード：9900

■店番：019 ■店名（カナ）：〇一九（ゼ ロイチキウ店）

■預金種目：当座 口座番号：0650871

■カナ氏名：セタガ ヤクガ クド ウホイククラブ フボ カイレンラクカイ